

ダンス？

牛乳の膜が繰り広げる不思議な夢のものがたり

演劇？

# 「タッチング・フェイス」上演&トーク

2011年12月11日(日)

14:00 開演 (13:30 開場)

スペース ALS-D

〒603-8225 京都市北区紫野南舟岡町 38-23

## アクセス

- 京都市バス (6,46,59,206 系統)  
「千本鞍馬口」下車、東へ徒歩 5 分
- 駐車場・駐輪場はございません。

料金：大人 1000 円、18 歳まで 500 円 (乳幼児無料)  
介助者は同額です。

## ●上演作品

「タッチング・フェイス」

(2010 年エイブルアート・オンステージにて初演)

「タッチング・フェイス ——なぞの膜男」

テキスト：牛若孝治

出演：牛若孝治、伴戸千雅子

(上演時間は 2 作品合わせて約 1 時間です)

## ●トーク「視覚にたよらない作品とは？」

作品の創作過程などを紹介し、作品の感想や意見交換をしたい  
と思います。

予約・お問い合わせ

baab@tcn.zaq.ne.jp、090-3650-1353(ばんど)

協力 Dance&People



この作品は、出演者の牛若孝治が見た夢を小説にして書くという作業を通じて、その小説を切り貼りして演劇風にしたものです。

「牛乳を温める」という、何気ない日常生活の行為。その牛乳を温めすぎて、「膜が張ってしまった」というのも、ごく日常的事柄。そこから繰り広げられる数々の「非日常的な事柄」を、身体表現で表した、およそダンスらしくない不思議な作品です。「嫌いな牛乳の膜」とどのように付き合うかが見もの。普段は視覚に頼っている日常生活のあれこれを、「身体感覚」という面から感覚を捉えなおす魅力的な作品です。子供から大人まで、年齢、性別、国籍など、あらゆるしがらみにとらわれることなく、楽しんでいただけたらと思います。

## プロフィール

牛若孝治 (うしわかこうじ)

視覚障害がある。10 年以上、鍼灸マッサージ師として鍼灸院に勤務した後、2006 年立命館大学産業社会学部に入學、現在、同大学大学院応用人間科学研究科修士過程在學。私は「侍精神」が大嫌いなので、「師」を使用している。眼で見たことをそのまま体で表現するのではなく、体からわき上がってくる感覚を大事にして、ひとつの作品を作りたい。

伴戸千雅子 (ばんどちかこ)

演劇、バリダンスを経て、舞踏を始める。98 年からはダンスグループ「花嵐」のメンバーとして京都を拠点に活動する。近年はさまざまな障害を持つ人とのワークショップや作品創作などを行い、身体を通して出会う「場づくり」に力を注ぐ。

主催 ロクの会

人間の情報の約 80 パーセントは、「視覚に頼っている」と言われている。ダンスや演劇・絵画など、作品を製作、観賞する場合、「視覚」が優位に作用しているが、本来は、すべての感覚を総動員しているはず。この会は、牛若孝治の提案により〈視覚に特化しないこと〉をテーマに、舞台作品の創作・上演や、大学、専門学校でのワークショップ、プレゼンテーションを行うなどの活動をし、「〈視覚に特化しない〉とはどういうことか？」をより多くの人と共有し考え深めることを目指している。